

【第31号】

令和5年9月1日発行

● 編集・発行 ●

大崎市農業委員会

〒989-6117

宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号

TEL 0229-23-2219

FAX 0229-22-8045

e-mail: nougyo@city.osaki.miyagi.jp



大崎市 農業委員会 だより



乗ろつよ!
陸羽東線
未来へ

『農業委員会新体制スタート』

就任のご挨拶

農業委員の任期満了に伴う委員
改選後、最初の総会（臨時）が去
る七月二十日に開催され、会長、
会長職務代理者、各専門委員会の
委員が決定しました。
また、農地利用最適化推進委員
の任期満了に伴い、新たな推進委
員を委嘱しました。



会長職務代理者
くまがいがいやすまさ
熊谷安正
(鹿島台地域)



会長
ささきまさなお
佐々木政直
(古川地域)

この度、農業委員と農地利用最適
化推進委員の改選により、農業委員
二十六名が市長から任命され、任命式
後に開催された臨時総会において、私
たちが会長と会長職務代理者を拝命す
ることとなり、大変身の引き締まる思
いがあります。その後、農地利用最適
化推進委員二十六名が農業委員会から
委嘱され、新たな大崎市農業委員会が
スタートしました。

さて、全国の農業委員会は現在、担
い手への農地の利用集積・集約化、遊
休農地の発生防止・解消、新規参入・
新規就農の促進を目標に掲げ、「農地
等の利用の最適化」に取り組んでいま
す。

しかしながら農業・農村を取り巻く
環境は、農業者の高齢化や担い手不足
の深刻化に加え、国際情勢や資材単価
の高騰、自然災害など厳しい状況にお
かれており、改めて食料安全保障体制
の強化が強く求められています。

このような中、四月一日に改正農業
経営基盤強化促進法が施行され「人・

農地プラン」が市町村の策定する「地
域計画」として法定化され、農地の出
し手・受け手の意向把握をもとに、地
域で積極的に推進し、「目標地図」の
素案を作成する役割を担うこととなり
ました。地域農業者の代表である農業
委員と農地利用最適化推進委員が各々
の使命を果たしつつ相互に連携し、そ
の成果を上げなければなりません。

さらに、大崎市の貴重な財産である
優良農地の確保に万全を期すために、
関係機関と連携し、年々増え続ける遊
休農地や次世代の担い手の育成対策、
大崎耕土世界農業遺産・SDGs 未来
都市「宝の都（くに）大崎」の実現に
向けた持続可能な田園都市の創生の対
応にも取り組んで参りたいと考えてお
ります。

引き続き、持続可能な農業・農村の
構築を目指しながら、大崎市の農業振
興・発展のため、当農業委員会は最大
限の努力を尽くして参りますので、市
民皆様の一層のご支援とご協力をお願
い申し上げます。就任のご挨拶といたしま
す。

農業委員紹介

主に総会での議案審議のほか、農地利用最適化推進委員と連携し、担い手への農地等の利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、農業への新規参入の促進を積極的に推進します。

農地、企画広報



なかもとなみ
中本奈美
(古川地域)

農地、農政



ぬのつかこうこ
布塚幸子
(岩出山地域)

農地、企画広報



おのでらまさあき
小野寺正晃
(古川地域)

農地、農政



すがわら
菅原ひろみ
(田尻地域)

役職名
所属専門委員会



氏名
(地域)

農地、企画広報



さいとうまりこ
齋藤真理子
(鹿島台地域)

農地、企画広報



さくらいまさゆき
櫻井正幸
(松山地域)

農地、農政



ささきひろこ
佐々木ひろ子
(古川地域)

企画広報委員会副委員長
農地、企画広報



たかはしよりこ
高橋順子
(古川地域)

農地、企画広報



しらかわとものり
白川知則
(岩出山地域)

農政委員会副委員長
農地、農政



ただのかずおみ
只埜和臣
(松山地域)

農地、農政



たかはしえりこ
高橋英理子
(鳴子温泉地域)

農地、農政



しもやまのぶゆき
下山信行
(鹿島台地域)

農地委員会委員長
農地



ささきまさあき
佐々木正彦
(田尻地域)

農地委員会副委員長
農地



すがわらせいいち
菅原清一
(古川地域)

農地、企画広報



なかもりしょうえつ
中森昭悦
(古川地域)

農地、企画広報



ささきゆたか
佐々木大
(田尻地域)

農地、農政



ささきとしみち
佐々木俊通
(古川地域)

農地、企画広報



さとうのぶゆき
佐藤伸幸
(田尻地域)

農地、農政



さとうひろゆき
佐藤裕之
(岩出山地域)

農地、農政



すすきいたる
鈴木至
(古川地域)

農政委員会委員長
農地、農政



なかじょうやすひろ
中條泰洋
(古川地域)

農地、企画広報



このひさお
今野久男
(岩出山地域)

農地、農政



すがわら
こ
菅原まり子
(岩出山地域)

企画広報委員会委員長
農地、企画広報



ちゅうばち
まもる
中鉢守
(鳴子温泉地域)



※議席順に掲載



かとう えいこう
加藤 栄幸
(古川2地域)



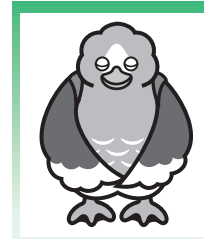
もんま こ
門間 すみ子
(古川1地域)



ささき えみ
佐々木 恵美
(古川1地域)



この たか ゆき
今野 隆之
(古川1地域)



氏 名
(担当地域)

農地利用最適化推進委員紹介
農地の出し手と受け手のマッチングなど現場での活動を行い、農業委員と連携し担い手への農地集積・集約化、遊休農地対策など農地利用の最適化の推進に取り組みます。



もり かわきょういち
森川 強一
(古川3地域)



たか はし まさる
高橋 勝
(古川3地域)



くさ かり とし つぐ
草刈 俊継
(古川3地域)



わた なべ まさ ひこ
渡邊 正彦
(古川2地域)



たか はし しゅういち
高橋 秀一
(古川2地域)



かな もり たか し
金森 孝志
(鹿島台地域)



よこ やま まさ ひろ
横山 昌弘
(三本木地域)



あい ざわ みつ のり
相澤 光徳
(三本木地域)



すが い ひろ き
菅井 宏樹
(松山地域)



うえ の たけし
上野 猛
(松山地域)



ちば とし あき
千葉 敏昭
(岩出山地域)



たか はし りょう
高橋 良
(岩出山地域)



たか はし よし かず
高橋 芳一
(岩出山地域)



さい とう ひろ よし
齋藤 浩義
(岩出山地域)



この ひろし
今野 浩
(鹿島台地域)



こ づつみ あや こ
小堤 彩子
(鹿島台地域)



もん ま けん
門間 健
(田尻地域)



すず き もとむ
鈴木 要
(田尻地域)



ささき こ
佐々木 ゆき子
(田尻地域)



い とう よし ひろ
伊藤 吉弘
(田尻地域)



ゆ さ ゆき ひろ
遊佐 幸広
(鳴子温泉地域)



たか はし のぶ ひろ
高橋 信宏
(鳴子温泉地域)

※古川1 … 古川荒雄、敷玉、北浦地区
古川2 … 古川志田、西古川、東大崎、高倉地区

古川3 … 古川宮沢、長岡、富永、清滝地区

令和5年度
第1回総会・臨時総会

大崎市農業委員会総会開催

令和5年度 事業計画

第一回定例総会において決定した事業計画は、次の通りです。

基本方針

本農業委員会は、関係機関・団体等との連携を強化し、地域の貴重な財産である優良農地の確保に万全を期すとともに、地域農業者の代表として次の重点事項に取り組んでまいります。

重点事項

- ① 農業委員・農地利用最適化推進委員相互の連絡調整の強化及び関係機関と連携した農地集積・集約化の促進
- ② 農地と担い手対策、農業・農村の活性化対策に重点を置いた活動
- ③ 農業を担う多様な人材の確保・育成を推進するため、女性や若い農業者の登用にに向けた会議や研修会の開催
- ④ 優良農地確保のための農地制度の適正執行の推進
- ⑤ 耕作放棄地の発生防止・解消対策の強化
- ⑥ 農業者年金制度の普及と加入推進の強化
- ⑦ 地域農業者への情報提供活動の強化及び農業者等からの意見集約と関係機関等への改善策提案



令和5年7月20日の臨時総会において、新たな専門委員会（農地委員会・農政委員会・企画広報委員会）の委員が決定し、各事業計画に取り組んでまいります。

農地委員会（農業委員24名）【基本毎月の定例総会の前日に開催】

【主な内容】

- 定例総会で審議する農地の許認可等の案件の事前調査・内容検討
- 非農地に係る調査
- 農地現状変更届の事後調査
- 農地転用の事後パトロール確認 等

農政委員会（農業委員11名）

【主な内容】

- 農業者との懇談会、意見の取りまとめ
- 農作業標準賃金額の検討
- 農業者年金の加入推進
- 市長に対する政策提案
- 農業委員会事務の実施状況等の公表に係る目標及びその達成に向けた活動の点検・評価
- 農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定、意見の提出 等

企画広報委員会（農業委員11名）

【主な内容】

- 農業委員会だよりの発行に係る取材・編集
- 農業委員会行政視察・各種研修会の立案
- 全国農業新聞の購読の推進
- 一日女性農業委員会の開催 等

毎月の定例総会日

定例総会の開催は、毎月25日（25日が土日祝日の場合は、翌平日）

一日女性農業委員会開催

令和五年度第一回一日女性農業委員会が七月四日に市役所本庁舎で開催されました。各地域から推薦された女性と大崎管内の農業科の生徒、宮城県農業大学校と宮城大学事業構想学群地域創生学類の学生の計二十八人が参加しました。まず委嘱状の交付から始まり、農業委員会の概要説明や活動内容などの説明がありました。

その後の講演では寒梅酒造五代目蔵元の岩崎真奈氏を講師に迎え、会社の概要や震災後の苦労、現在の取り組みなどを語ってもらいました。会社は地域・人・農業と成長していきたいという思いから原材料を地元産にこだわり、また日本酒造りに加え今年三月「おやつ工房ハルリッカ」をオープンするなど酒蔵の魅力を発信する姿に参加者は熱心に耳を傾けていました。

午後からは三班に分かれ意見交換があり女性が抱えている農業に対する思いや問題など活発な議論がされました。加美農業高校の米の消費に対する取り組みや宮城大

学の学生による【農業×〇〇】といった掛け合わせによる視点からのアプローチで農業を盛り上げる考え方、女性の農業参入においてもっと行政のバックアップがほしいなど、様々な意見・要望が出されました。それら女性委員の声をまとめ政策提案として大崎市に提出されます。

昨今、コロナウイルスや世界情勢の問題、激甚化する災害などで食料安全保障とグリーンインフラなどの面で国内農業の重要性が高まりつつあります。その反面、後継者・担い手不足、資材・肥料の高騰など取り巻く状況も厳しいものがあります。この難局を乗り越えるために女性の更なる活躍を期待しています。

十一月に開催される第二回一日女性農業委員会では、さらに輝きを増した女性委員の皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

取材

佐々木 俊通 委員

※後援「みやぎアグリレディズ21」



購読してみませんか？ 農業者の皆様を応援します！

わかりやすく解説
農業・農政

最新情報を逃さない
経営・流通・技術

忙しくてもまとめて読める

地域版
身近な話題満載

頑張る若手や
女性の元気を応援

週刊紙

～お申込み・お問合せは～
お近くの農業委員、
農業委員会事務局
(☎23-2219) まで
お願いいたします。

月4回金曜日発行 月額税込み700円（年8,400円）（送料込み）





がんばる農業者

三本木地域 相澤 一輝さん（二十一歳）



二年前に農業大学校水田経営学部を卒業し就農された一輝さんを紹介します。

経営規模は水稲十一ヘクタール・大豆十二ヘクタール・子実トウモロコシ〇・七ヘクタールを耕作しています。就農して二年目、毎日楽しく仕事をしています。小さい時から父親の背中を見て育った一輝さんは四人兄弟の長男であったことから自然と農業の

道を進んだそうです。

最近4Hクラブに入り仲間づくりをしています。関わりが増え充実しています。格納庫には大型のトラクターやコンバイン等が所狭しと並んでいました。取材当時は五月の末でトラクターには整地用ローターが取り付けられており、まもなく大豆の播種作業に入ります。

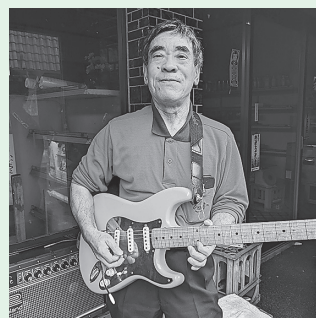
今後の展望は規模拡大で受託面積も増やしていきたい。また、露地野菜なども取り組んでいきたいと抱負を語っていました。

とても若々しくて素晴らしい青年でした。今度おじゃまするときは農業者年金のパンフレットを持っていきたいと思います。

取材

小関 芳樹 前委員

農業者年金受給者の声



鳴子温泉地域 あきら 中 鉢 顯 さん

鬼首地域原台にお住まいの顯さんは、稲作農業をやめ、今は森林の徐間伐作業を請け負っています。

農業者年金に加入したのは、旧年金制度の頃で、二十七歳の時に将来のためにと自ら掛け始めました。「若い頃は、月二万円ほどの掛金は少々負担だったが、現在受給できるようになり、今とても助かっている。」と話していました。

釣り・音楽鑑賞・エレキギター・バンド活動など多趣味な顯さんは年金を趣味や嗜好に使っているそうです。掛けて良かったと自慢のギターを弾いてくれました。

取材

高橋 英理子 委員

農業者年金は 今のあなたと老後のあなたを応援します

ポイント1 農業者なら誰でも入れる **「終身年金」**

ポイント2 一定の要件を満たす方には **「保険料の国庫補助」**

ポイント3 税制面で大きな **「優遇措置」**



加入資格は3つだけ

①年間60日以上農業に従事 ②65歳未満 ③国民年金第1号被保険者（保険料納付免除者を除く）（ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者）

内容やご相談は、最寄りの農業委員会またはJAへお問い合わせください。

詳しい年金額シミュレーションはこちら⇒



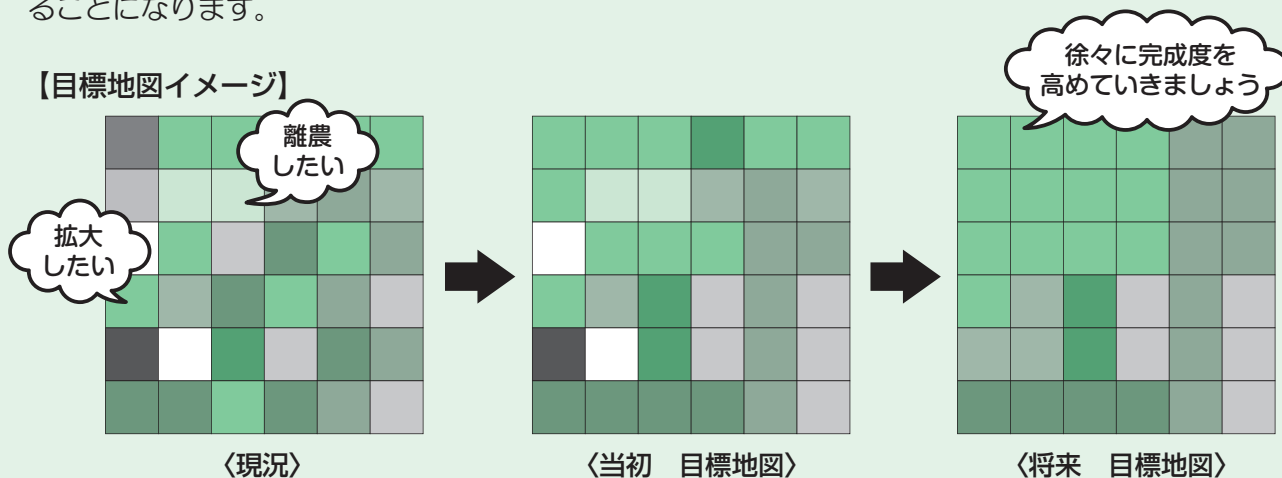
地域計画（目標地図）の策定について

農地の集約化等に向けた取り組みを加速するため、農業経営基盤強化促進法等の改正法が成立し、それに伴い「人・農地プラン」から「地域計画」へ変わります。

「人・農地プラン」や「地域計画」とは？

「人・農地プラン」とは、地域のみなさんの話し合いに基づき、地域農業における中心経営体や地域の農業の将来のあり方等をまとめた計画です。法律の改正により、「人・農地プラン」は「地域計画」と名称を変えて、新たに10年後に目指す地域の農地利用を示した「目標地図」を作成することになります。

【目標地図イメージ】



どうやって作るの？

令和7年3月末までに「目標地図」を含む「地域計画」を策定する必要があります。今後、意向調査や地域での話し合いを順次実施していきます。地域農業の将来をみんなで共有し、一緒に取り組むことが必要です。皆さまのご協力をお願いいたします。

農地等利用状況調査を実施しています

遊休農地や農地の無断転用の実態を把握するため、7月から9月にかけて農業委員会による農地の利用状況調査を実施しています。

調査の結果、遊休農地の所有者等に対し「利用意向調査」を実施するほか、新たに遊休農地や、農地法の許可を受けずに宅地や資材置場などに利用している農地が確認された場合は、健全な農地の維持と有効活用を図るため、該当農地の所有者・使用者へ指導を行います。

農地に関する貸借や売買、転用などについては地域の農業委員、農地利用最適化推進委員、又は農業委員会事務局にご相談ください。



STOP!!

農地の違反転用



- 農地を転用する場合は**許可**又は**届出**が必要です。
- 許可を取らずに違反転用した場合、**3年以下の懲役**または**300万円以下（法人は1億円以下）の罰金**を科せられる場合があります。



編集後記

八月一日（八月朔日）と書いて「ほづみ」さんとお読みする苗字があるそうです。

諸説あるようですが、旧暦の八月一日（現在の九月上旬）はちょうどお米の収穫時期にあたり、自然災害の洪水等により農作物に被害が出るが多かったようです。

そこで稲の穂を摘んで神様にお供えし、台風被害もなく、お米が豊作となり、無事に収穫ができるよう祈願していたことが由来になっているようです。

私の暮らす鹿島台地域でも幾度となく大きな水害に見舞われ、家屋や農作物、家畜などにも甚大な被害をもたらしました。しかし、そのたびに多くの皆様からご支援を賜り、決して諦めることなく前に進み続けて来ました。先人たちにも大変な苦労があり必死で守り続けてきた田畑が、今の私たちに引き継がれています。

これから先、どんな困難があっても農地をそして農業を守り続け、未来へ繋げて行くことが私たち農業委員の務めでもあります。日々研鑽を重ね自分の役割をしっかり果たせるよう邁進して参ります。微力ですが、まずは稲穂をお供えし豊作をお祈りしたいと思います。

一望為豊田。まもなく待望の稲刈が始まります。

下山 信行 委員

「宝の都(くに)・大崎」の実現に向けた持続可能な田園都市の創生



大崎耕土
世界農業遺産



お問い合わせ先

大崎市農業委員会事務局 ☎23-2219

松山事務所 ☎55-2111

三本木事務所 ☎52-2112

鹿島台事務所 ☎56-7111

岩出山事務所 ☎72-1211

鳴子事務所 ☎82-2111

田尻事務所 ☎39-1111